一般社団法人　宮崎県助産師会

　　　　　　　　2020・7月31日

　　**新型コロナウイルス感染症予防のための安全対策指針**

この指針は、厳しい状況を想定して作成しております。市町村で感染拡大状況が異なると思いますので、この指針を参考にして活動をお願いいたします。

●**助産師自身が感染源にならない安全管理、感染管理、体調管理が必要**

　→自分が感染しているが症状が出ていない可能性もあると考え行動する。

▶助産師自身について

・毎日検温と体調（咳・倦怠感等）について記録を行う。（仕事以外の日も）

・不要不急の外出は避け、行動についても記録を行う。（仕事以外の日も）

　　　　　　　　　　　　　　　　　上記2項目について、体温・行動記録表を参照

・体調不良があれば、（新型コロナウイルス感染症と診断されなくても）2週間待機し、ケアをおこなわない。

・同居家族、職場等での濃厚接触者の体調不良についても同様に2週間待機する。

・都道府県、市町村の指定病院、産婦人科医会対策協議会の通知等の情報を得る。

・県外への往来や繁華街で接待を伴う飲食店の利用など、県が県民に要請している内容を常時理解して活動する。（宮崎県新型コロナウイルス感染症対策特設サイトを参照）

・日本助産師会や宮崎県助産師会のHPを定期的に開いてみること。

　・メーリングリストに登録すること（宮崎県助産師会や日本助産師会）

　　・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を利用する

▶患者さんへの対応

・来院または訪問前に電話で問診を行う。

2週間前からの体調含め本日の体温を確認する。

同居のご家族等濃厚接触者の状況も確認する。

→体調不良・発熱のある方、あった方はクリニックや病院を紹介する

＜保健指導での訪問の場合＞

・訪問先の玄関で靴下の履き替え、新しいマスクに付け替え、フェイスシールド装着する。

・母と訪問先にいる家族にもマスク着用を依頼する。

・訪問前後、手を洗う。（タオルは持参する）

・その後ガウンまたはエプロンの着用する。

・母乳マッサージ等母乳に触れる時はディスポ手袋を使用する。

・ベビー体重計等、肌に触れる器材箇所は前後にアルコール消毒をおこなう。

・新生児・乳児には基本的に触れず、母親に抱っこしてもらうこと。（母と相談）

　観察・触診する際は、ディスポ手袋を着用する。

・必要時以外は適切な距離（2ｍ）をとること。

・換気を促すこと。訪問する部屋の換気は、対角線上に窓やドアなど2か所を開放してもらう。

＜保健指導での来所・産後入院の場合＞

　・患者さんには、来院してすぐ手洗いマスク着用をお願いする。

　・助産師はマスク、フェイスシールド、ガウン・エプロンを着用する。

　・使用するタオル類は持参してもらう。

・母乳マッサージ等母乳に触れる時はディスポ手袋をする。

・新生児・乳児には基本的に触れず、母親に抱っこしてもらう。（産後ケア入院等は相談）

　観察・触診する際は、ディスポ手袋を着用する。

・1回ごとに、玄関、インターホン、ドアノブ、洗面所、トイレ等の除菌をおこない、使用されたお布団等毎回交換する。マスクやエプロン等も患者さん毎に交換する。

・必要時以外は適切な距離（2ｍ）をとること。

・常時換気を行う。対角線上に窓やドアなど2か所を開放する。

・患者同士が接触しないよう予約時間の間隔をあける。

＜助産所入院の場合＞

　・産婦さんとそのご家族には、来院してすぐ手洗いマスク着用をお願いする。

　・助産師はマスク、フェイスシールド、ガウンを着用する。

・妊婦さんへのマッサージや腹部触診をする場合は触る前にアルコール消毒を行い、手袋着用←自宅分娩時の間接介助者も同様とする。

・ドップラー、ベビー体重計等、肌に触れる器材箇所は前後にアルコール消毒をおこなう。

・新生児には最低限の接触とし、原則母親に抱っこしてもらうこと。（母と要相談）

・必要時以外は適切な距離（2ｍ）をとること。

　・複数入院の産婦がいる場合は、共有部分へ出るときはマスク着用を促し、共有部分の利用時ごとに、除菌・アルコール消毒をおこなう。

・産前産後、家族の体調管理をしてもらう。体調不良の場合は連絡をもらう。

・その場合は嘱託医療機関と相談し、指示を仰ぐ。

・部屋は常に換気を行う。対角線上に窓やドアなど2か所を開放する。

　・面会は極力控えるようにする。

＜分娩に関しての確認事項＞

助産師の的確な判断、嘱託医療機関と連携のための再確認をしておく。

1. 助産業務ガイドライン2019を遵守した業務・判断をおこなう。
2. 異常時の嘱託医療機関などへの転送体制についての確認をする。
3. 発熱時の対応は嘱託医療機関に相談の上、保健所へ連絡する。
4. 出生後母乳育児は可能（今後情報の変化により変更する可能性あり）
5. コロナ陽性妊婦への対応は嘱託医療機関に相談し指示を仰ぐ。

内容は最新の情報をもとに製作しておりますので、今後変更することがあります。

以下の状況の時は、宮崎県助産師会までご連絡をお願いいたします。

* **判断に困った時**
* **助産師本人がコロナ陽性と診断された時**
* **助産師本人が濃厚接触者のためPCR結果待ち**
* **濃厚接触者との接触があり相手のPCR結果待ち**

**【連絡先】一般社団法人宮崎県助産師会**

1. 会長　森　伴子（日高母乳育児コンサルタント）

TEL：090-3662-0086　　 E-mail　okebokko@outlook.jp

1. 副会長　田中　優子（古賀総合病院）

TEL：090-5932-0353　　E-mail　tanakamw40@gmail.com

1. 安全/災害対策委員　赤木　由香理（ゆかり母乳育児相談室）

TEL：090-5382-1243　　E-mail　ringo\_oketani@yahoo.co.jp

